

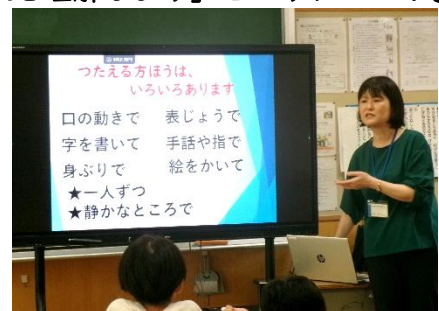


教育目標：目標をもち挑戦する子どもの育成～あいさつと笑顔のあふれる八小～

心のバリアフリー授業(障害理解授業)

本校では、全校で「心のバリアフリー授業(障害理解授業)」に取り組んでいます。この授業をとおして、障害の有無に関わらず、自分や相手を理解し、認め合い、思いやりの心をもって関わり合うことができるようになることを目指しています。7月17日(金)には、聴覚支援学校の先生を講師に招き、3年生が「耳のきこえない、きこえにくい人を理解しよう」というテーマで学習しました。今後の予定は次のとおりです。

- 9月11日(金)【講師の先生：秋田きらり支援学校】
 - ・5年生「手足など身体に不自由な人を理解しよう」
- 11月13日(金)【講師の先生：天王みどり学園】
 - ・1年生「いろいろなともだちがいるよ」
 - ・2年生「いろいろな工夫をみつけよう」
 - ・6年生「自分もまわりの人も大切にするために」
- 12月10日(木)【講師の先生：視覚支援学校】
 - ・4年生「目の見えない人、見えにくい人を理解しよう」



9月の主な行事予定 ※諸事情により変更もあり得ることをご承知おきください

1日(火) 学校安全日
定期集金口座振替日

2日(水) フッ化物洗口

3日(木) 児童委員会

9日(水) フッ化物洗口
所長訪問
修学旅行結団式
6年5校時限
Eタイム(1年)

10日(木) 修学旅行1日目 全校5校時限

11日(金) 修学旅行2日目
4年校外学習(県防災学習館)
5年心のバリアフリー授業

14日(月) 全校5校時限
Eタイム(2年)
定例職員会議

15日(火) 5年脊柱側彎症検査

16日(水) フッ化物洗口
教育実習最終日

17日(木) クラブ
3年校外学習(五城目イオン)
5・6年田んぼアート稲刈り

21日(月) 敬老の日

22日(火) 国民の休日

23日(水) 秋分の日

24日(木) 児童委員会
(環境ボランティア委員会水質調査)
校内授業研究会
ようこそ先輩集会

25日(金) 6年校外学習(ジオパーク)

29日(火) 読み聞かせボランティア
(かたりなハッチ 1、2年)

30日(水) 町誕生70周年記念ステージ

★★子どもたちの活躍★★

○第40回全日本小学生女子ソフトボール大会
準優勝 八郎潟小 SBC



○第67回全県席書大会
硬筆の部 特選 ○○ ○○(1年)
○○ ○○(1年)



※今月号は、8月21日までに学校にお知らせいただいたものを掲載しています。

令和8年度 全国学力・学習状況調査（6年生）の結果について

今年度の4月23日（木）に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果についてお知らせします。今年度は、国語・算数の2教科と学習に関するアンケート（学習状況調査）が行われました。2教科とも秋田県平均、全国平均を上回る結果となりました。また、自分の考えや解き方を説明する記述式の問題にも最後まで諦めずに根気強く取り組んだことが解答用紙やアンケートからうかがえました。

学習状況調査では、良好な項目がたくさんありました。その中でも、学校生活や友達関係、自己肯定感、社会貢献についての項目で肯定的な回答が多く、全国や県平均を上回っていました。ただ、ICTを活用した情報の整理やプレゼンテーションなどの発表の技能の部分で苦手意識をもっている子どもが見られました。

☆正答率の低かった問題☆

<国 語>

(1) 【話し合いの様子の一部】の□に入る内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

1 持久走のタイムは速いけれど、苦しいのは嫌い
2 スピーチが苦手だし、好きになれそうにない
3 上手ではないけれど、絵をかくのは楽しい
4 歌うことが大好きで、人前で歌うのも気持ちがいい

林さんは、「文章」を読んで、自分の考えをまとめるために、同じ文章を読んだ小川さんと話し合うことにしました。次の【話し合いの様子の一部】をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えなさい。

【話し合いの様子の一部】

林さん 私は「苦手」と「嫌い」という題名の文章が心に残ったんだ。この文章の中の（ ）部分アを示しながら、この部分が特に考えさせられたんだ。

小川さん どんなことを考えたの。

林さん この部分のあとにいろいろな事例が出てくるでしょ。これらの事例を読んだら、自分にも同じようなことがあると、はっとしたんだ。例えば、自分に置きかえると、こういうことがあるよ。

小川さん なるほど。文章と自分の経験を結び付けて考えたんだね。

林さん そうなんだ。この文章を読んで、これまでの自分にはない考えたっただけで、なるほどと思ったよ。小川さんは、どんなことを考えたの。

小川さん ぼくは、この文章を読んで、筆者が書いていることと少しちがうことを考えたんだ。「苦手だからどうしても嫌い」ということもあるだろうし、「得意だけれど嫌い」ということもあるんじゃないかなと思うんだけど、どう思う。

（話し合いが続く）

ア 一度「苦手」と思っただけで、ついでに「嫌い」と思ってしまうようになるのだけど、でも「嫌い」と思ってしまうのがいいから、でも「苦手」でも好きなことがあるんだと、大人になつてから知りました。

<算 数>

(3) さくらさんたちは、前半と後半のあやとりやかるたに参加する1年生の人数を下の表にまとめました。

前半と後半の遊びごとの人数 (人)

		後半		合計
		あやとり	かるた	
前半	あやとり	4	9	13
	かるた	8	7	15
合計		12	16	28

さくらさんたちは、あやとりに参加する1年生にひもをわたします。わたすひもの本数を知るために、表からあやとりに参加する人数を調べると、次のことがわかります。

前半にあやとりに参加する人数は ⑦ 人です。
前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数は ④ 人です。

上の⑦、④に入る数を、それぞれ書きなさい。

<国語> 全ての内容で秋田県や全国の正答率を上回っていました。特に「話すこと・聞くこと」の領域で「自分の考えが相手に伝わるような構成や表現の工夫に関する問題」での正答率が高くなっていました。また、文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめる記述式の問題も大変よい結果でした。正答率が低かったのは、空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する問題です。目的に応じて、必要な情報を見付けることが求められています。相手の話の中心を捉え、それを受けて自分の考えを話すなどの言語活動の充実を図り、表現力や思考力を高めていきたいと考えています。また、「ふしぎ」を漢字で書く問題が本校だけでなく、全国的に低くなっていました。語彙を増やし正しく漢字を使えるようにするために読書の推進やこども新聞の活用、自主学習の充実に力を入れていきます。

<算数> 全ての内容で秋田県・全国の正答率を大きく上回りました。算数では、計算ができるだけでなく、考え方を説明する力や算数を活用して日常生活の問題を解決する力をみる問題が多くありました。上記は、二次元表から条件にあう数を読み取る問題です。子どもたちは普段の生活で時間割表などの二次元表に触れてきていますが、この問題は観点が2つあり、子どもたちにとっては分かりづらい問題です。子どもたちの必要感のある課題を設定し、丁寧に復習していききたいと考えています。

本校では、今回の結果を基に成果や課題を整理して、子どもたちの根気強く取り組む姿勢を更に伸ばし、学力の定着に結びつけられるよう、また「授業が楽しい・分かる」を目指し授業改善等の取組を一層進めていきたいと考えています。今後ともご家庭のご支援、ご協力をお願いいたします。